

島根県生協連ニュース

No.26 2013年9月発行

ホームページ <http://shimane.kenren-coop.jp>

島根県生活協同組合連合会

〒690-0017 松江市西津田1丁目10-40 (生協しまね内)

TEL 0852-27-6284 FAX 0852-27-5742

E-mail : kenren-s@coop-shimane.jp



【ピースリレー2013 米子行進】



【想いをツナグ、島根大学生協学生委員会】



【広島・三次行進参加者の皆さん (島根、鳥取)】



【広島・三次市内行進】



【ピースナイター2013】

生協しまね雲南支所平和サークルみらいや
松江市内の塾の皆様等から寄せられた
「平和の折り鶴」を7月27日に広島・三次
にて広島の皆様にお渡しをしました。



ピースアクション2013 (平和の取り組みを進めました)

☆ 平和を訴え行進、…ピースリレー (平和行進・日本海コース)

鳥取から島根、島根から広島へ“平和への想いを”引き継ぐ

ピースリレー2013の取り組みは、7月20日・鳥取県米子市にてピースリレー（日本海コース）の米子行進、集いと『鳥取から島根』への引継式が行われ、島根からは、島根大学生協学生委員会、生協しまねの組合員・役職員、県生協連役員など24名が参加、鳥取県生協連の参加者をあわせて95名の皆さんが参加をされました。

今年は、島根大学生協学生委員会の学生の皆さんが手書きで作成された横断幕を持つての行進で、行進団を盛り上げてくれました。行進団は沿道の皆さんに歌をまじえて平和をアピールしながら約2時間の行進を行ないました。つどい、では、福島の子供達へのグッズづくりやコンサート、島根大学生協の平和クイズと行なわれ、最後に鳥取から島根へ「ピースリレー横断幕」が引き継がれました。

7月27日・広島三次市にて『島根から広島』へ

の引渡式、三次市内行進が行われ、島根からは、出雲医療生協、生協しまね、県連役員など17名、広島生協連の参加者をあわせて200名を超える皆さんが行進を行ないました。



【島根大学生協学生委員会作成の横断幕で行進】

☆ 平和と核廃絶の願いをこめた、「ピースナイター2013」原爆の日・8月6日開催

今年のピースナイターは

広島・福島・静岡 3球場で同時開催

核兵器廃絶や世界平和への願いを発信するために始まった「ピースナイター」は今年で6回目。今年は8月6日にピース・復興ナイターとして、広島マツダスタジアム以外に、静岡県の浜松球場（中日対ヤクルト）、福島県の開成山球場（DeNA対巨人）の3球場で開催されました。

マツダスタジアムで開催された「広島－阪神」戦には、島根県生協連・会員生協の組合員・家族、役職員155名が参加をしました。試合は、黙祷が行なわれた後、被爆2世で歌手・俳優の吉川晃司さんの始球式で始まり、5回終了後、背番号8・6番の吉川さんが平和を願うジョン・レノンの「イマジン」を独唱し、スタンドは緑と赤の「ピースポスター」でピースラインをつくり、核兵器廃絶、そして、平和の大切さをアピールした一日となりました。試合は、1対0で広島が勝利をしました。

……全国へと着実に引き継がれることを願い……

2011年に漫画「はだしのゲン」の作者・故中沢啓治さん、2012年に被爆者で野球解説者の張本勲さんが始球式をし、核兵器のない世界の実現を願った。広島から発信し続けられるメッセージは、全国へと着実に受け継がれている。



「ピースナイター2013」～参加者の感想より～

最初は吉川晃司さん目当てで参加をしました
が、行きのバスの中で参加者の皆さんがきちん
と平和について考えておられていることを知り、
自分は軽い気持ちで参加したな～と思いま
したが、みんなでピースボードを掲げて「イマ
ジン」にあわせてボードを揺らした時は、何と
も言えないおごそかな雰囲気、感動し心から
平和を願う気持ちになりました。...

(30代 女性)

今年で私としては3回目の観戦となりました。
長男から始まり、長女、そして、今年は
家族5人で参加をさせてもらいました。戦後
68年の長い時の間に社会が変化して、又、
世代が変わってゆく中で、このピースナイ
ターに参加することで、1人1人の思いや、
願いが受け継がれて行っていることをうれし
く思いました。我が子達も次の世代に何かを
伝えてくれれば幸せです。(50代 男性)

先発が前田健太投手でとてもうれ
しかったです。そして、9回ウラ
ー死一三塁いで、丸佳浩選手がぎせい
フライでサヨナラ勝ちをしてとても
うれしかったです。68年前の広島
への原爆く投下、このようなことが
二度とないようにしたいです。

(小学5年 男性)

今回のピースナイターに参加して改めて思ったこ
とは、こうして普通に試合を観戦できて楽しめることは
とても幸せだということです。去年も行きましたが、
今年はちょうど8月6日の試合ということで去年より
深く68年前のことを考えることができたように思
います。また、5回に吉川晃司さんが歌われたイマ
ジンは、日本語バージョンを聴くのは初めてで、歌詞の
意味がよく分かって、そして、伝わってきました。と
ても良い歌詞だということも今回ピースナイターに行
けて分かりました。(高校1年 男性)

島根県西部を中心とした大雨災害の対応について

7月末、8月に掛けて島根県西部を中心に記録的な大雨による災害が発生しました。被災地では度重なる災害の中で、懸命に復旧作業が進められています。

この度の記録的な大雨により被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

こうした災害に対して、島根県内の生協では、安否確認（電話、訪問等）、支援物資（食品、飲料、下着等）、炊き出し、募金など様々な取り組みが進められています。

県内生協（島根県生協連・会員生協）で取り組まれた内容についてご報告を致します。

【医療生協：松江保健生協、出雲医療生協、ひかわ医療生協】

○島根民医連の呼びかけにより、役職員を中心に支援募金を呼びかけ、410,065円の募金が寄せられた。（島根県共同募金会へ）また、未使用タオルやカップ麺などの支援。

【グリーンコープ生協】

○安否確認の実施（電話、共同購入の配送時など）

【労済生協】

○共済金のお支払いの対応について、被災者対応を最優先課題とした取り組み。

【生協しまね】

○津和野町を中心にした大雨災害対応

- ・安否確認(電話、配送時等)、お取引先様、生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合等より、支援物資（お弁当、飲料水、カップ麺、お菓子、下着類、クロワッサン等）の提供を受けてお届け。
- ・避難所での炊き出し（西部の組合員、役職員）8月3日、4日に津和野町内の避難所でカレーライス、牛丼など炊き出し。

○江津市等を中心にした大雨災害対応

- ・避難所への白米、飲料水の支援。

○『県西部大雨被害による、緊急募金のお願い！』8月12日より組合員に呼びかけ開始。



通常総会・理事会開催報告

★第40回通常総会報告

6月26日・島根県生協連40回通常総会が全代議員出席のもとで開催され、2012年度活動報告・決算および剰余金処分案、監査報告、2013年度方針・予算、役員の新補充選任の件など全議案が承認されました。方針では、平和の取り組みや原子力発電に頼らないエネルギー政策の転換に踏み出すために、一人ひとりが関心を寄せ、自分のこととして考えていけるよう学習や講演会の開催、行政や他の協同組合及び諸団体との協働と連携の強化について提案、承認されました。

また、国民が正しく理解しているとは言い難い現状の中でのTPP交渉参加には県内で結集する団体、個人と連携し反対する運動を展開して行くとの特別決議も行なわれました。総会終了後は「会員生協活動交流会」が開催されました。

【選任された役員の皆様】

○理事

烏田政己（島根県学校生協 専務理事）

栗山保夫（島根大学生協 専務理事）

○監事

瀬川秀明（労済生協 専務理事）

★第10回理事会報告

日時 2013年7月11日(木)

会場 生協しまね会議室

出席理事9名中8名、出席監事2名中1名

【主な報告事項】

①会議報告、今後の会議日程

②6月末決算報告

③会員生協通常総（代）会報告

④第29回中四国生協・行政合同会議について

⑤食料・農林漁業・環境を考える島根県民フォーラム学習会について

【主な協議・審議事項】

①島根県議会議員懇談会の実施に向けて

②「会員生協監事研修交流会」の開催に向けて「監事の役割と責任、監査の基本」について正確な知識を習得し、会員生協の監事との交流を目的に開催することを確認した。

③中国・四国ブロック「地方消費者グループフォーラム」実行委員の選出について

④2013年度ピースアクションの取り組みについて（ピースリレー、ピースナイター等）

⑤会員生協「平和活動の取り組み」助成について

今後の予定・ご案内



【2013年10月～12月 主な予定】

★中四国地連運営委員会・県連活動推進会議

日程：10月1日(火)

会場：日本生協連中四国地連会議室(岡山)

★日本生協連・経営課題討論集会

日程：11月14日(木)

会場：日本生協連(東京)

★第12回理事会

日程：11月20日(水)

会場：生協しまね本部（松江）

※東日本大震災の被災地訪問を計画

★中国・四国ブロック地方消費者グループフォーラム実行委員会

日程：12月5日(木)

会場：山口

★中四国地連運営委員会・県連活動推進会議

日程：12月10日(火)～11日(水)

会場：日本生協連中四国地連会議室(岡山)

島後消費生協（隠岐の島）の解散について

1976年に隠岐の物価高を何とかしようと開設された「島後生活センター」を礎にして1983年8月に地域生協として設立されました。

離島の物価高に正面から向き合い、生活・環境・健康にやさしく、より安心・安全な商品の供給を通じて消費者(組合員)の生活改善をはかることを目的に事業が進められました。

事業を拡大し、3店舗を展開、ピーク時には組合員数1,100名、3億円を超える供給高を確保していましたが、2004年に離島では規模の大きい量販店の進出や少子高齢化による人口減少、地域経済の低迷などの社会変化に対応できず、2013年3月末をもって解散されました。

島根県生協連では、隠岐での生協運動再興の可能性について理事会等で協議を進めることが、第40回通常総代会で承認されました。